

報道関係各位

2026 年 10 月 20 日

東京エレクトロン デバイス株式会社

エッジ AI モデル保護ソリューション「FalconVault」を販売開始
～知的財産である AI モデルを流出・不正利用・改ざんから守り、エッジ環境へセキュアに展開～

東京エレクトロン デバイス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：宮本 隆義、以下 TED）は、企業の知的財産やノウハウが組み込まれたエッジ AI モデルを、流出や不正利用、改ざんから保護するソリューション「FalconVault（ファルコンボルト）」の販売を 2026 年 10 月 20 日より開始します。

FalconVault は、自社ノウハウや独自データを組み込んだエッジ AI（特定用途 AI、生成 AI、フィジカル AI）モデルを暗号化し、TPM（Trusted Platform Module）を利用して特定の機器と紐づけることで、許可された環境でのみ利用できるようにする TED 独自のソリューションです。

URL: https://esg.teldevice.co.jp/iot/azure/solution/detail_falconvault.html



■背景

近年、クラウド上の大規模言語モデル（LLM）に加え、ローカル PC やエッジデバイス上で動作させるエッジ AI の活用が広がっています。オフライン利用、機密情報やプライバシーデータのローカル処理、低遅延、通信帯域の抑制といった要件に対応できることから、産業機器、医療機器、店舗端末など、さまざまな領域で導入検討が進んでいます。

一方で、企業が独自データや業務ナレッジ、開発ノウハウを用いて学習させた AI モデルは、製品価値や競争力の源泉となる重要な知的財産です。モデルファイルが外部に流出した場合、類似機能の模倣や不正利用につながる恐れがあり、AI 開発に投じた投資や企業の競争優位性を保護する観点からも、適切な管理が求められます。

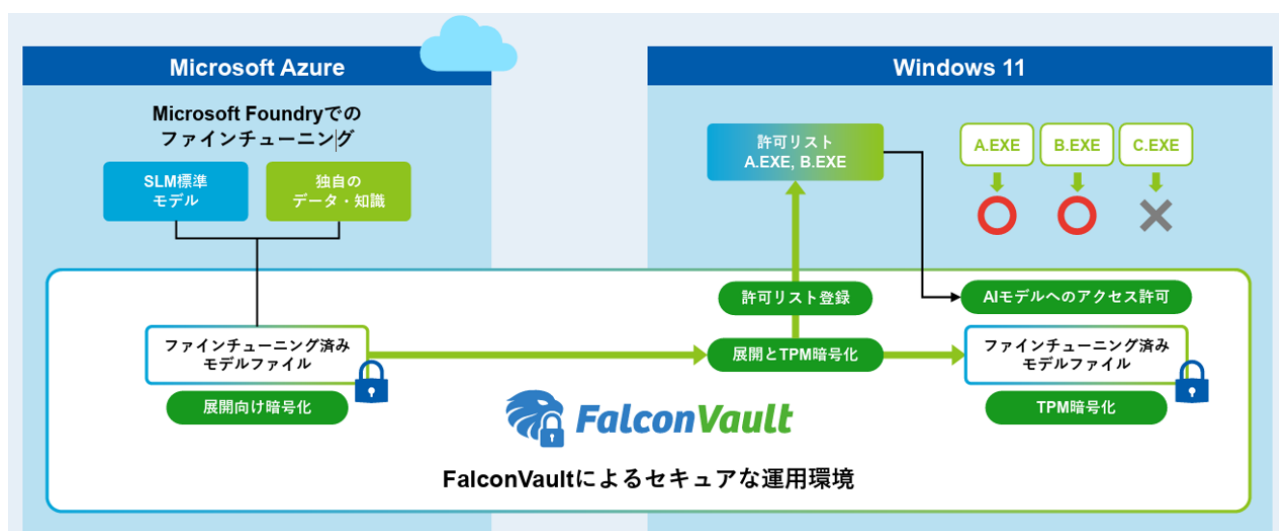
こうした課題に対応するため、AI モデルを知的財産として保護しながら、安全にエッジ環境へ展開・運用するしくみが必要とされています。

■FalconVault の概要

FalconVault は、エッジ AI モデルを暗号化し、TPM (Trusted Platform Module) を利用して特定の機器と紐づけることで、許可された環境でのみ利用できるようにする TED 独自のソリューションです。万が一モデルファイルが外部に持ち出された場合でも、別の機器では復号・実行できない環境を構築します。

さらに、AI モデルへアクセスできるアプリケーションを許可リストで制御し、登録されていないプログラムからのアクセスを遮断します。これにより、AI モデルを搭載した製品や機器を出荷後も、許可されたアプリケーションと機器の組み合わせでのみ利用できるセキュアな運用を支援します。

なお、AI モデルの暗号化と特定機器への紐づけ、および許可リストによるアプリケーションのアクセス制御に関する本技術は、特許出願中です。



■FalconVault の特長

- ・エッジ AI モデルを暗号化し、モデルファイルの流出や不正利用、改ざんのリスクを低減
- ・TPM を利用して AI モデルと対象機器を紐づけ、許可された機器でのみ復号・実行できる環境を実現
- ・許可リスト方式により、登録済みアプリケーション以外からの AI モデルへのアクセスを遮断
- ・AI モデルの評価・導入から製品実装、運用環境の構築まで、Windows 搭載エッジ機器を中心に支援

■想定される活用領域

FalconVault は、エッジ環境で特定用途 AI、生成 AI、フィジカル AI などの AI モデルを活用する製品・機器の高度化と安全な展開を支援します。

- ・産業機器や工作機械など、オフライン環境で AI 機能を活用する製品
- ・医療機器など、機密性の高いデータをローカルで処理する製品
- ・製造ライン向けにエッジ AI 機能を提供する OEM 製品
- ・AI 対応 PC や店舗端末など、低遅延・ローカル処理が求められる機器 など

■販売価格

FalconVault では、評価・導入段階に応じたライセンスを提供します。評価版は月額 10 万円、本番稼働後の保守費は月額 10 万円、初期導入支援を含む正式版は初期費用 240 万円です。導入規模、対象機器数、

支援内容などに応じて個別にお見積もりします。 ※価格は税別

TED は、エッジ AI の開発・導入を支援する「Try it! SLM on Edge」や、ファインチューニング、評価・PoC 開発、製品開発を支援する伴走支援サービスを提供しています。FalconVault と組み合わせることで、AI モデルの検証から製品実装、知的財産保護を見据えた運用環境の構築までを一貫して支援します。

※生成 AI の製品実装に関する支援の詳細はこちらをご覧ください。

URL : <https://esg.teldevice.co.jp/iot/azure/slm-on-edge/index.html>

<展示会登壇予定>

EdgeTech+ 2026 の基調講演に登壇します。

登壇日：2026 年 11 月 19 日（木）15:05～15:50 展示会場内 RoomA

テーマ：エッジ AI 環境として整備が進む Windows ～開発展開から知財保護まで製品実装への現実解～

会場：パシフィコ横浜 展示ホール／アネックスホール

URL : <https://www.jasa.or.jp/expo/>

東京エレクトロン デバイス株式会社について

東京エレクトロンデバイスは、メーカーと技術商社の力で潜在的な社会課題を解決する会社を目指し、半導体や IT を中心とする最先端テクノロジーの社会実装を推進しています。

技術商社として培った先進的な製品・サービスの発掘、メーカー機能の強化による革新的なソリューションの開発を通じて、超スマート社会の実現と持続的な発展に貢献します。

URL : <https://www.teldevice.co.jp/>

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

東京エレクトロン デバイス株式会社 マーケティングコミュニケーション部 広報グループ

お問い合わせフォーム : <https://www.teldevice.co.jp/cgi-bin/form/contact.php>

<本製品に関するお客様からのお問い合わせ先>

東京エレクトロン デバイス株式会社 エッジクラウドソリューション部

お問い合わせフォーム : <https://iot.teldevice.co.jp/azure/contact/azure.html>

※このニュース リリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※Microsoft、Azure、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。